

令和4年度 大阪府立堺支援学校 第2回運営協議会 議事録

校名	府立 堺支援学校
(准)校長名	校長 西浦由夏、准校長 三宅康寛

開催日時	令和4年11月22日(火)10時～11時30分
開催場所	本校 校長室
出席者(委員)	長谷川委員長、井辻勝美委員、但馬秀樹委員、吉野由利委員、久保田征夫委員、児玉和夫委員
出席者(学校)	西浦由夏校長、三宅康寛准校長、橋本真希教頭、西山三穂子教頭、岩田博昭分校教頭、黒田健司事務部長、林真広首席、木曾幸葉首席、黒川仰主席、井上部主事、毛利規子分校首席
傍聴者	なし
協議資料	①令和4年度 学校教育自己診断について(本校・分校) ②令和4年度 いじめに関するアンケートについて(本校・分校)
備考	

議題等(次第順)

I 報告及び協議

- (1) 令和4年度学校教育自己診断について(本校・分校)
- (2) 令和4年度いじめアンケート結果について(本校・分校)
- (3) 福祉秋祭り実施報告(本校)

協議内容・承認事項等(意見の概要)

I 報告

- (1) 上記の議題(1)(2)について説明及び報告をした。
- (2) 上記の議題(3)について報告をした。

II 協議

- (1) 令和4年度 学校教育自己診断の結果を報告。  
課題のある項目について検討して次回運営協議会にて報告する。(本校・分校)
  - ・(質問)本校の結果を見るとICT機器や授業内容の項目において、教職員と児童生徒・保護者に認識に差が見られるがそれをどう考えるのか。  
→小・中学部では高評価で高等部で評価が下がる。コロナ禍において、子どもどうしの関わりが減少したことも影響していると分析するが、今後もひとりひとりの実態や状況に合わせた対応、学びを大切にしていかなければならないと再認識した。
  - ・(意見)高等部だけで学年別の評価を見ると、学年が上がるごとに評価も上がっている。これは学校での取り組みがきちんと積みあがっていることを表している。
  - ・(意見)特に高等部の生活課程の保護者に実際に学校に足を運んでもらう機会を増やして、もっと学校での子どもの様子を見てもらえば、評価はあがるのではないかと考える。
  - ・(意見)分校については学校と整肢学園の連携を密にし、教育と医療の役割分担を明確にしていくことが大切である。
- (2) 令和4年度 いじめアンケートについて(本校・分校)
  - ・(意見)いじめに該当する事象はなくても、今後も学校内はもちろん、学校外での出来事であっても「いじめの芽」となる事象を見逃さないように児童生徒の実態把握、保護者との連携をおこなっていく。また、教員自身の人権感覚チェックを忘れずに行っていくことが大切である。
- (3) 福祉秋祭り実施報告
  - ・(意見)このような地域とのつながりは今後も大切にしていってほしい。

次回の会議日程

日時	令和5年2月7日
会場	大阪府立堺支援学校